

2016年2月発行

安房普及だより

〒294-0045 千葉県館山市北条402-1 TEL: 0470-22-8132 FAX: 0470-22-0097

ホームページアドレス <http://www.pref.chiba.lg.jp/ap-awa/index.html>

発行：安房農業事務所改良普及課・安房農林業振興協議会普及事業部会



晴天のもと賑わった『おまつりマルシェ』

セミナー卒業生達による
イベント開催!

有機農業者8名から成る南房総オーガニックは、当事務所主催の平成24年度青年農業者スキルアップセミナーを契機に設立し、マルシェや新規就農希望者向けの研修を企画しています。

去る平成27年7月に、安房の農業を地域の消費者に身近に感じ理解してもらおうことを目的に、日曜マルシェ2周年企画『おまつりマルシェ』を開催しました。

当日はオーガニック会員と後援団体の館山市、南房総市、当事務所が参加した「農業の未来を語る」トークショーの他、物販や飲食等44団体の出店があり、約1000名の来客がありました。

当事務所では、今後も新規就農者の経営の安定や仲間作りなどの支援をしていきます。

夏季の空いた農地で「しょうが」を栽培しませんか？

安房地域では、古くからしょうがが作られています。

今回は風味がよく香りが高いと言われる在来品種「房州中太しょうが」の栽培を御紹介します。

夏季の収益アップのために、できるだけ手間をかけずに栽培できる品目を探している方はいませんか？しょうがの栽培は、排水がよく灌水設備があることが理想ですが、灌水設備がない場合でも半日程度日陰になる畑では栽培できます。ただし、梅雨時期や大雨時に畑が冠水しないように明きよ等の排水対策を行う必要があります。

安房地域の露地作型は、GW前後に植え付けて9月～11月頃に収穫となります。栽培のポイントは、①夏場の除草をこまめにする、②根茎腐

敗病対策のため4～5年サイクルの輪作とする、③（灌水設備があれば）梅雨明け後、週1回程度灌水する、です。

しょうがの種は、各種苗会社等で購入できます。自分で種しょうがの貯蔵にチャレンジする場合は、13～15℃を維持でき、浸水の恐れがない排水がよい土地を選び、縦穴を掘り、埋めて貯蔵します。

しょうが栽培や貯蔵のポイントをまとめた資料が欲しい方は、当農業事務所改良普及課までお問い合わせください。



1条植えのしょうがの畑

水田における飼料作物の湿害軽減技術

（耕うん同時畝立て播種技術）

安房地域では、飼料用のトウモロコシ、ソルガムは水田で作られることが多く、播種後の湿害が問題となっています。

その対策技術として導入されたのが、畝を立てて種子が水に浸かるのを回避する技術です。この技術は、アップカットロータリと播種機を組み合わせた耕うん同時畝立て播種機により、ロータリ耕うんを行いながら畝を形成し、同時に播種、鎮圧をします。

安房地域においては南房総市和田町地域を活動拠点とするNFC和田でこの機械が導入されました。これにより湿害が回避でき、3月下旬から4月初旬の早期播種も可能となりました。



写真1 耕うん同時畦立て播種



写真2 降雨後のほ場

水稻の除草剤について

田植えの季節までまもなくです。改めて基本技術を振り返り、今年もおいしいお米を作りましょう。例年、問い合わせが多い雑草に関して注意点を紹介しますので、水田の様子を見ながら適切な防除を行ってください。

◆雑草防除の基本

一年生雑草や多年生雑草の中でも、マツバイやホタルイのように主に種子で繁殖する雑草が中心の水田では、一発処理剤での一回防除が可能です。初中期一発剤は、ヒエの葉齢に注意して登録内容の使用時期内で早めに散布してください。

◆効果を高めるポイント

代かきを丁寧に行い、田面を均平にしてください。除草剤は雑草の種類や大きさに合わせて選び、適期に散布してください。散布後は中干しま

で落水せずに湛水状態を保ってください。水管理の善し悪しが除草効果を大きく決めます。

◆難防除雑草

オモダカやクログワイ、コウキヤガラ、イボクサ、アシカキ、雑草イネ(※)は、特に防除が難しい雑草です。これらが昨年発生した場合は、一発処理剤だけでなく、初期剤と中期剤(二発処理剤)を組み合わせて除草しましょう。
※雑草化したイネの総称。平成27年度、安房地域においても雑草イネと疑われる草種が初めて発見されました。



オモダカ

【安房うんめえもん会

(鈴木厚子会長)の活動紹介

安房地域は、温暖な気候に恵まれ様々な農林水産物が入手できます。

女性達が、これらを利用して加工や直売・宿泊施設等をはじめの中で、おいしい加工品をより多くの消費者に届けたいとの意見が集まりました。

そして、ネットワークを作り、いずれは都市部の人達にも手作りで安全安心のおいしいものを届けたいという動きが始めました。

◆主体的な活動をする「安房うんめえもん会」の設立

平成21年には、女性起業家が集まり、10名の実行委員を選出し、準備会を重ね、平成21年8月20日、13起業経営体が集まり「安房うんめえもん会」を立ち上げました(初代会長 羽山光枝)。

会では自立した運営を目指



イベントへの出店の様子

し、イベント出店の交渉、連絡、会計処理、資料作り等、自分達で考え、自分達で決めて自ら行動するネットワークです。道の駅や多くのイベント会場で商品の紹介を重ね、その名前も知られるようになっていきます。

今年度は、新たにおせち料理用セットについて、大手企業と連携したネット販売も始めました。

仲良く、楽しく、元気良く、会員達は地域に貢献したいと熱心に取り組んでいます。

新しく認証された

指導農業士・農業士の紹介

安房地域では、今年度新たに指導農業士1名、農業士3名の方々が認証されましたので、御紹介します。

★指導農業士

仲村 利明氏（南房総市）

ユリとアイリス主体の経営で、これまでにユリで農林水産大臣賞（関東東海花の展覧会）を3回受賞しています。

また、省エネ設備を導入し、環境にやさしい農業を実践しています。



★農業士

真田 和宏氏（南房総市）

キングヨソウ中心の経営です。省力技術を取り入れ、新たな品目も積極的に導入しています。また、地域活動も熱

心で、若手のリーダーとしても活躍しています。

山崎 大祐氏（館山市）

ひまわり、ストックの複合経営で、栽培管理を徹底して実施し、効率的に生産を行っています。

また、地域の担い手としても活躍しています。



池田 卓夫氏（南房総市）

酪農と繁殖和牛を主体とした経営で、水稲及び自給飼料の栽培にも積極的に取り組んでいます。また、所属団体の役員としても活躍しています。



平成28年度

「農業経営体育成セミナー」新規受講者募集中！

本セミナーは、概ね35歳までの若手農業者を対象として農業の知識や技術等の基礎を3年間で学ぶものです。

毎月1〜2回程度の講義や実習、視察研修、篤農家等の訪問、交流会等により、仲間での農業のノウハウを身につけていきます。普及員による個別相談も併せて実施します。平成27年度は、30名の方が受講しました。

平成28年5月下旬の開講に向けて、新規受講者を募集しています。お近くの若手農業者の方にも是非お知らせください。新規参入者の方も受講できます。

生涯の仲間と出会えるチャンスです！
お問い合わせ・申し込みは当農業事務所改良普及課まで。

安房農業賞及び

安房農業奨励賞受賞者紹介

本年度は、酪農業の振興に御尽力された4名が受賞されました。

安房農業賞

田村 駿氏（鴨川市）
たかし

池田 忠雄氏（南房総市）

金木 健治氏（鋸南町）

安房農業奨励賞

鈴木 修氏（鋸南町）

新たな女性農業者組織の設立
6月に、幅広い女性農業者が集まり資質向上を目指す「ちば県女性農業者ネットワーク」が設立されます。どなたでも加入できるので興味のある方は御連絡ください。

お詫びと訂正
本誌第22号に記載した「(一社)南房総農業支援センター」は、正しくは「(二財)南房総農業支援センター」でした。謹んでお詫び申し上げます。